

## 中國湖北江陵張家山漢墓出土竹簡概述

胡 平生

### 要約

本稿は前漢前期の史料として注目される湖北省の張家山漢簡についての講演資料である。張家山漢簡には漢律が含まれているという点で、雲夢秦簡の秦律の後をうかがうことができることなど、諸分野の中でもとりわけ法制史においてその公表が待たれている。現時点では限られた部分の發表が、『文物』一九八五年第一期にある。この状況の中で、直接的にその整理と研究にあたられた中國文物研究所の胡平生先生の講演資料を活字にすることは、既に發表されている『文物』誌上の寫真と共に検討することで、釋讀の上での新知見や中國側の研究の進展をうかがうものとして十分に参考となるものである。資料番號1~12は、出土簡の釋文であり、資料番號17~30は講演時の引用史料である。

一九八三年末至一九八四年初、湖北江陵張家山三座西漢前期墓葬中出土二千多支竹簡、後來運到北京、在中國文物研究所進行脫水處理、和整理研究。目前已發表了一小部分材料、重要的漢律、奏讞書（刑事訴訟案例）、兵書等內容皆未公布。報告會準備以「文物」月刊一九八五年第一期圖版照片爲綱、對張家山的重要內容作一介紹。

中國湖北江陵張家山漢墓出土竹簡概述

如漢律中有關田律的內容、兵書中關於攻擊敵人的時機與策略、引書中健身體操的技巧、奏讞書一個偷牛冤案的復查等等。別外、也簡單地介紹一九八六年新出土的別一批張家山漢簡、這批簡照片在荊州地區博物館陳列、將根據參觀情況報告有關的內容。

張家山漢簡資料（文物一九八五・一月號圖版二）

- 1、 效律
- 2、毋用此律
- 3、 存者皆以畀其主 （戶律）
- 4、 金布律
- 5、禁諸民吏徒隸、春夏毋敢伐材木山林、及進隄水泉、燔草爲灰、取產驪卵殼、毋殺其繩重者、毋毒魚…… （田律）
- 6、諸馬牛到所皆毋敢穿、穿及置它機能害人馬牛者、雖未有殺傷也、耐爲隸臣妾、殺傷馬牛與盜同濃、殺人…… （田律）
- 7、廣袤乘之即定、 （算數書）

8、增減 增分者增其子，減主者減其母。 (同右)

9、●蓋廬曰、凡擊適(敵)人、何前何後、何取何豫、申胥曰、凡擊適人者、以其始至、馬牛未食、卒毋行次、前壘未固、後人未舍

…… (蓋廬)

10、徒卒飢恐、我則疾嘽、從而擊之、可盡其處、適(敵)人侍

(待)我山戒、吾侍(待)之以臺(怡)、皮(彼)欲擊我、其不能、

皮(彼)則數…… (同右)

11、時手孛(攘)黑牝牛來、即復羣去、不智(知)它、和曰、縱

黑牝牛南門外、嘉平時、視今求弗得、以毛所盜 (奏讞書)

12、盜何故言曰與謀盜、毛曰、不能支疾痛、即誣講、以彼治罪也、

診毛北(背)、答鞞相質五也道肩下到要(腰) (同右)

13、以下引書、脈書等已發表。 (13~16)

17、戶律——唐律疏議、戶婚律者、漢相蕭何承秦六篇律後、加

廡·與·戶三篇、爲九章之律。迄至後周、皆名戶律。

18、金布律——漢書蕭望之傳、金布者令篇名也。其上有府庫、金

錢、布帛之事、因以名篇。

19、雲夢睡虎地秦簡田律、春二月毋敢伐材木山林及壅堤水、不夏

月、毋敢夜草爲灰、取生荔、麤麇(卵)殼、毋□□□□□□毒魚鱉、

置穿罔(網)、到七月縱之。

20、呂氏春秋、孟春、是月也、……禁止伐木、無覆巢、無殺孩蟲、

胎夭飛鳥、無麇無卵。仲春、是月也。……無竭川澤、無漉陂池、無

焚山林。

21、凡用兵之謀、必得天時。左太歲、右五行、可以戰、前赤鳥後

倍(背)天鼓可以戰、左青龍右白虎可以戰、招搖在上、大陳其後可

以戰、噓左壹右逆在倍(背)可以戰、是胃順天之時。

22、攘——孟子、勝文公、日攘其鄰之鷄者。

23、史記·秦始皇本紀、更名臘曰嘉平。

24、之令中律官嗇夫吏

25、王使者進至來賓出

26、趨下就立(位)少府中郎進

27、狄道臨洮氏道羌

28、竝趨(跪)大行左大行進趨(跪)曰

29、有罪當耐、其灑不名耐者、庶人以上耐爲司寇、耐爲隸臣、

妾有耐罪、毆城且春……

30、後五步、北上、謁者一人立東陞者南面、立定、典客言具謁者

以聞、皇帝出房、賓九賓、及朝者